

【鍼灸の適応】<WHO（世界保健機関）>

一般に、鍼灸療法は肩こり、腰痛、神経痛、関節炎ぐらいにしか効果が無いように思われがちですが、多くのつらい症状や病気に効果があります。

（適応例）

NIH（米国国立衛生研究所）の見解として鍼灸療法の各種の病気に対する効果とその科学的根拠、西洋医学の代替治療として有効であると発表しました。

WHO（世界保健機関）で鍼灸療法の有効性を認めた病気には次のものを挙げています。

【神経系疾患】

神経痛・神経麻痺・痙攣・脳卒中後後遺症・自律神経失調症・頭痛・めまい・不眠・神経症
ノイローゼ・ヒステリー

【運動器系疾患】

関節炎・リウマチ・頸肩腕症候群・頸椎捻挫後後遺症・五十肩・腱鞘炎・腰痛
外傷の後遺症（骨折、打撲、むちうち、捻挫）

【循環器系疾患】

心臓神経症・動脈硬化症・高血圧低血圧症・動悸・息切れ

【呼吸器系疾患】

気管支炎・喘息・風邪および予防

【消化器系疾患】

胃腸病（胃炎、消化不良、胃下垂、胃酸過多、下痢、便秘）
胆嚢炎・肝機能障害・肝炎・胃十二指腸潰瘍・痔疾

【代謝内分泌系疾患】

バセドウ氏病・糖尿病・痛風・脚気・貧血

【生殖・泌尿器系疾患】

膀胱炎・尿道炎・性機能障害・尿閉・腎炎・前立腺肥大・陰嚢

【婦人科系疾患】

更年期障害・乳腺炎・白帯下・生理痛・月経不順・冷え性・血の道・不妊

【耳鼻咽喉科系疾患】

中耳炎・耳鳴・難聴・メニエル氏病・鼻出血・鼻炎・ちくのう・咽喉頭炎・へんとう炎

【眼科系疾患】

眼精疲労・仮性近視・結膜炎・疲れ目・かすみ目・ものもらい

【小児科疾患】

小児神経症（夜泣き、かんむし、夜驚、消化不良、偏食、食欲不振、不眠）
小児喘息・アレルギー性湿疹・耳下腺炎・夜尿症・虚弱体質の改善

さくら鍼灸整骨院

兵庫県加古川市加古川町北在家 2231